

○こうもりつり

一丁目の松原側は見渡す限り田園でしたので、夏の夕方にはこうもりが餌をもとめて群がりました。私共子供達は農家でするので葦草履をはいてましたのでこうもりの群の中に草履を投げるとこうもりは餌と思ひ草履にくいつき地面に落ちてきます。こうもりが草履をつれたものです。

○肝だめし

夏の夜は必ず肝だめしが子供の間に Rowe されました。山下では追分の墓地でやりました。墓地下の小松ドブロク屋の所に集り一人づゝ墓地へと坂を登って行きました。大変肝を潰しましたが、又仲々面白いことでした。

#### 四、小学校

保土ヶ谷町には小学校は保土ヶ谷・帷子・星川、高等小学校は保土ヶ谷だけでした。山下の子供は帷子小学校（地区センター）から保土ヶ谷高等小学校へと進学したものです。

当時の小学校の運動会は保土ヶ谷町内の三校の小学校が合同して、一年一回岡野公園グラウンドで運動会を開催し、その時の一番の目玉は三校対抗リレーでした。このリレーには絶対勝たねばならぬ使命感がありました。選手は真剣で児童ばかりでなく父兄も大変身を入れました。

#### 五、災異

○火災

山下は古来より火事の少い所ですが、明治の初期？ 宮田町一丁目里の湯より出火し、北風にあおられ街道沿に追分、浅間町へと類焼したそうてこれが一番の大火だそうてす。

○地震

古来より地震は多い土地ですが、大正大地震の外特に保土ヶ谷方面が最も震源に近かったのは文化九年十一

月四日保土ヶ谷、神奈川強震で怪我人が多かつたようですが、関東大地震が一番被害があつたわけですが、地盤の関係で山下は被害も少なかつたが朝鮮人の暴動のデマで町民を地震より以上の不安を感じさせました。町内の老若婦女子は七班の片山さんの芝の庭に集団避難し、夜は大変心細いことでした。

町内会の壮年の人々は各自日本刀を腰に差し、朝鮮人に備えることとてまるで戦争のようでしたが、まもなく軍隊の到来に依つてようやく治安が治まりました。

然しこのさわぎで各地で朝鮮人に対する惨劇が行われ、一丁目居住の朝鮮人家庭にも危険がせまりましたが、附近の人々の努力により難をのがれました。大変喜ばしいことでした。

○瓦谷戸

一丁目六班の谷戸は瓦の材料になる土がとれたので瓦谷戸と云います。

相鉄天王町駅の今井川沿の所に尾崎と云う瓦屋があつて、毎日瓦を焼いていました。この瓦の土は瓦谷戸から運んだものです。

#### 六、史蹟

○薬師堂

追分神磨山の突端（薬師堂山と云う）に一群の墓地があります。伝承によりますと、この墓地を背景にして往昔薬師如来を本尊とする草庵が営まれていたとのことてす。現在の足立さん（昆布や）のいなり様がある所かと思われます。

この薬師堂は洪福寺の前身であつたと云われ、洪福寺の本尊の薬師様はこの草庵にあつた薬師様と云われています。なお、薬師堂のあつたと思われる墓地わきに大正の頃まで浅間台小グラウンドから小さな滝が流れ落ちていました。